

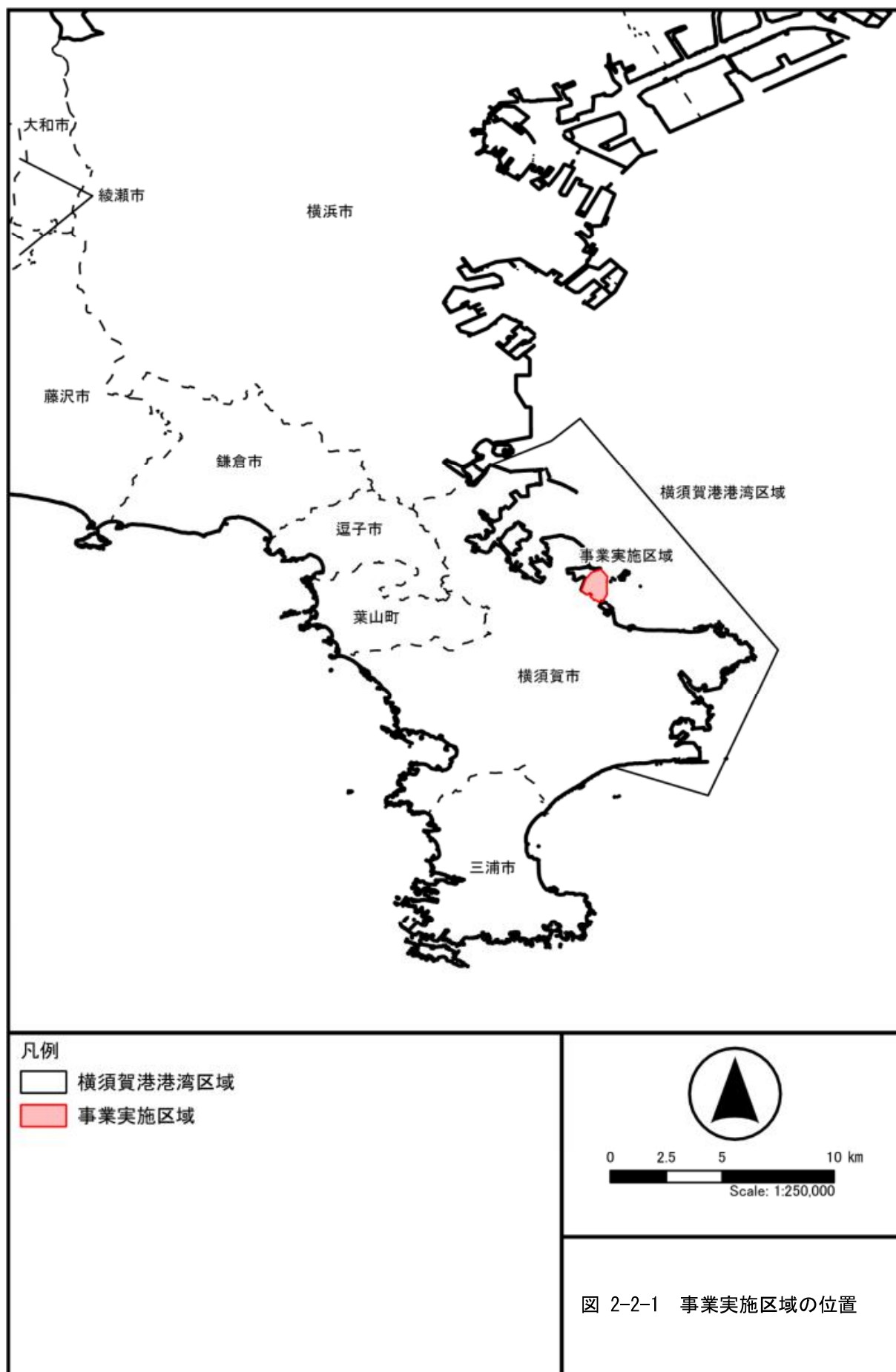
別添2-2 位置又は実施区域及び周辺地域の環境の特性

1	社会的状況	2-2-1	(15)
1)	行政区画	2-2-1	(15)
2)	人口	2-2-3	(17)
3)	産業	2-2-4	(18)
4)	土地利用	2-2-7	(21)
5)	交通	2-2-11	(25)
6)	水利用	2-2-27	(41)
7)	環境保全に留意を要する施設等	2-2-38	(52)
8)	環境関連の社会資本の状況	2-2-56	(70)
9)	公害の状況	2-2-63	(77)
10)	公害苦情の状況	2-2-125	(139)
11)	関係法令等の指定・規制等	2-2-127	(141)
2	自然的状況	2-2-171	(185)
1)	気象	2-2-171	(185)
2)	水象	2-2-174	(188)
3)	地象	2-2-193	(207)
4)	生物	2-2-201	(215)
3	その他の状況	2-2-251	(265)
1)	文化財の分布状況	2-2-251	(265)
2)	レクリエーション資源の分布状況	2-2-255	(269)
3)	地域景観の特性状況	2-2-257	(271)
4)	その他の事項	2-2-259	(273)

1 社会的状況

1) 行政区画

事業実施区域は、図 2-2-1 に示すとおり、神奈川県南東部の横須賀市に位置する。



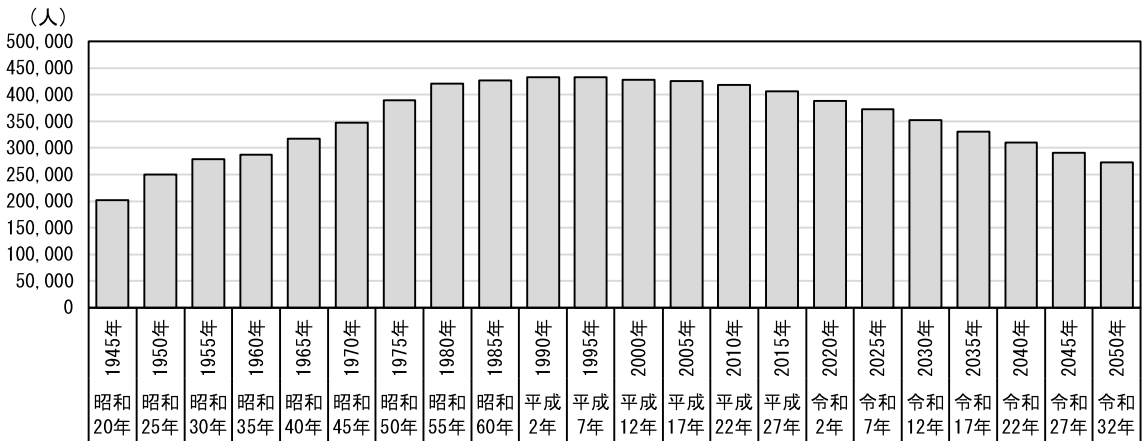
2) 人口

横須賀市の人口・世帯数及び人口密度を表 2-2-1 に、国勢調査に基づく横須賀市の人口の推移を図 2-2-2 に示す。事業実施区域周囲 1km 範囲の 20 地区の人口は約 4.3 万人であり、横須賀市全体の約 11%を占めている。

表 2-2-1 人口・世帯数及び人口密度

行政区	面積 (km ²)	世帯数	人口	人口密度 (1km ² 当たり)
横須賀市	100.810	185,992	384,663	3,816
事業実施区域周囲	汐入町	0.843	2,625	4,479
	本町	0.114	871	14,421
	稲岡町	0.246	12	49
	楠ヶ浦町	0.812	—	—
	泊町	1.607	170	416
	猿島	0.062	—	—
	新港町	0.161	—	—
	小川町	0.141	1,035	13,617
	大滝町	0.082	560	990
	緑が丘	0.087	102	160
	若松町	0.146	576	961
	日の出町	0.227	1,678	3,109
	米が浜通	0.139	1,021	1,569
	平成町	0.531	1,190	2,878
	安浦町	0.320	2,871	5,077
	三春町	1.067	4,570	8,630
	富士見町	0.501	1,856	3,401
	田戸台	0.170	689	1,336
	深田台	0.195	826	1,560
	上町	0.594	2,808	5,137
	20地区計	8.045 (8.0%)	23,460 (12.6%)	43,279 (11.3%)

注 1：「人口」は住民基本台帳に基づく数値であり、「面積」は市独自に推定した数値を四捨五入した値である
 注 2：（ ）内の数値は横須賀市人口に対する割合を表す
 出典：横須賀市統計書 令和 5 年度（2023 年度）版（横須賀市）



注 1：昭和 20 年は 11 月 1 日現在の人口調査による。
 注 2：令和 7 年以降は将来推計人口であり、横須賀市基本構想・基本計画（令和 4 年 6 月、横須賀市）による。
 出典：横須賀市統計書 令和 5 年度（2023 年度）版（横須賀市）

図 2-2-2 横須賀市の人口の推移と将来推計人口

3) 産業

(1) 産業の概要

横須賀市における事業所数及び従業者数を表 2-2-2 に示す。横須賀市全体において事業所数が多いものは、卸売業・小売業、次いで宿泊業、飲食サービス業であり、従業者数が多いものは、医療・福祉であり、次いで卸売業・小売業が多くなっている。

事業実施区域周辺の町の大部分が含まれる本庁地区においては、事業所数は横須賀市と同様に卸売業・小売業が多く、次いで宿泊業・飲食サービス業が多い。また、従業者数は、卸売業・小売業が多く、次いで医療・福祉が多くなっている。

表 2-2-2 横須賀市の事業所数・従業者数

(令和3年6月1日現在)

産業分類 (大分類)	横須賀市		本庁	
	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)
全産業	11,677	118,198	3,370	34,237
農業, 林業漁業	34	527	3	48
鉱業, 採石業, 砂利採取業	-	-	-	-
建設業	1,402	8,401	188	1,229
製造業	459	14,882	63	834
電気・ガス・熱供給・水道業	20	444	8	304
情報通信業	110	851	35	252
運輸業, 郵便業	198	5,482	31	1,145
卸売業, 小売業	2,564	22,906	808	7,693
金融業, 保険業	182	2,587	90	1,745
不動産業, 物品賃貸業	996	3,115	311	1,174
学術研究, 専門・技術サービス業	433	4,930	160	1,086
宿泊業, 飲食サービス業	1,514	11,765	598	5,335
生活関連サービス業, 娯楽業	1,229	5,492	375	2,085
教育, 学習支援業	414	4,445	109	1,691
医療, 福祉	1,389	24,691	375	7,128
複合サービス事業	59	965	13	73
サービス業 (他に分類されないもの)	674	6,715	203	2,415

注：本庁地区は、稲岡町、不入斗町、上町、大滝町、小川町、楠ヶ浦町、坂本町、佐野町、猿島、汐入町、汐見台、新港町、田戸台、鶴が丘、泊町、日の出町、深田台、富士見町、平成町、平和台、望洋台、本町、緑が丘、三春町、安浦町、米が浜通、若松町の 27 町を含む地区を指す
出典：横須賀市統計書 令和 5 年度 (2023 年度) 版、横須賀市

(2) 漁業

事業実施区域周囲の漁業経営体数及び漁船を表 2-2-3 に示す。また、横須賀市の漁業種類別漁獲量を表 2-2-4 に、養殖魚種別収穫量を表 2-2-5 に、魚種別漁獲量を表 2-2-6 に示す。

横須賀市の漁業経営体数は 318 であり、このうち、長井地区が 112（約 35％）と最も多く、事業実施区域に最も近い横須賀地区は 40（約 13％）である。

横須賀市の平成 30 年の漁獲量は 4,898 トンであり、漁業種類別漁獲量は、大型定置網、中・小型まき網が多く、魚種別漁獲量は、まぐろ類、いわし類が多くなっている。

表 2-2-3 漁業経営体数及び漁船

(平成30年11月1日現在)

漁業地区別		横須賀市 全体	東部						長井	大楠
			横須賀	走水・大 津	鴨居	浦賀・久 比里	久里浜	北下浦		
漁業 経営 体数	総 数 (経営体)	318	40	35	24	14	13	2	112	78
	個 人 (経営体)	294	39	32	23	10	x	x	103	73
	会 社 (経営体)	20	1	3	1	4	x	x	8	2
	漁 業 協 同 組 合 (経営体)	-	-	-	-	-	x	x	-	-
	漁 業 生 産 組 合 (経営体)	1	-	-	-	-	x	x	-	1
	共 同 経 営 (経営体)	3	-	-	-	-	x	x	1	2
	そ の 他 (経営体)	-	-	-	-	-	x	x	-	-
漁 船	総 数 (隻)	645	70	89	51	65	x	x	187	148
	無 動 力 漁 船 (隻)	1	-	-	-	-	x	x	1	-
	船 外 機 付 漁 船 (隻)	413	29	77	34	35	x	x	131	94
	動 力 隻数 (隻)	231	41	12	17	30	x	x	55	54
	漁 船 トン数 (t)	1,797.1	539.0	86.7	123.8	301.3	x	x	387.1	225.9

注：「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの。

出典：横須賀市統計書 令和 5 年度（2023 年度）版（横須賀市）

表 2-2-4 漁業種類別漁獲量

平成30年 単位：t

漁獲量計	底びき網	船びき網	まき網	刺し網	定置網		はえ縄	
	小型底びき 網		中・小型 まき網	その他 の刺網	大 型 定置網	小 型 定置網	遠洋まぐ ろはえ縄	その他の はえ縄
4,898	69	43	685	182	2,704	374	x	19
はえ縄以外の釣					採貝・採 藻	その他漁 業		
かつお一本釣り		いか釣	ひき縄釣	その他釣				
沿岸かつお一本釣り		沿岸いか釣						
103		5	x	29	181	130		

注 1：統計数値は、表示単位未満を四捨五入しており、小計・合計と内訳の計が一致しないことがある。

注 2：「-」：事実のないものについては表記していない。

注 3：「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの。

注 4：合計の値に秘密保護上、統計数値を発表しないものの漁獲量は含まない。

出典：海面漁業生産統計調査 市町村別データ（令和 6 年 6 月閲覧、e-stat 政府統計の総合窓口ホームページ）

表 2-2-5 養殖魚種別収穫量

平成30年 単位:t				
収穫量計	こんぶ類	わかめ類	のり類	かき類 (殻付)
699	46	417	x	x

注1：統計数値は、表示単位未満を四捨五入しており、小計・合計と内訳の計が一致しないことがある。

注2：「-：事実のないもの」については表記していない。

注3：「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの。

注4：合計の値に秘密保護上、統計数値を発表しないものの漁獲量は含まない。

出典：海面漁業生産統計調査 市町村別データ（令和6年6月閲覧、e-stat 政府統計の総合窓口ホームページ）

表 2-2-6 魚種別漁獲量

平成30年 単位:t						
漁獲量計	まぐろ類	かじき類	かつお類	さめ類	さけ・ます類	このしろ
4,898	4,486	52	207	21	x	280
いわし類	あじ類	さば類	さんま	ぶり類	ひらめ・かれい類	
1,759	155	575	x	359	45	

注1：統計数値は、表示単位未満を四捨五入しており、小計・合計と内訳の計が一致しないことがある。

注2：「-：事実のないもの」については表記していない。

注3：「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表しないもの。

注4：合計の値に秘密保護上、統計数値を発表しないものの漁獲量は含まない。

出典：海面漁業生産統計調査 市町村別データ（令和6年6月閲覧、e-stat 政府統計の総合窓口ホームページ）

4) 土地利用

(1) 市街地等集落の分布状況

横須賀市における都市計画区域は 10,081ha であり、このうち 65.7%が市街化区域である。なお、現在は、横須賀市行政区域全域が都市計画区域となっている。

表 2-2-7 市街化区域及び市街化調整区域

区別	面積(ha)
都市計画区域	10,081 (100.0%)
市街化区域	6,627 (65.7%)
市街化調整区域	3,454 (34.3%)

出典：横須賀市の都市計画（資料編） 令和6年4月

(2) 土地利用状況

横須賀市における利用区分別土地面積を表 2-2-8 に、土地利用状況を図 2-2-3 に示す。

横須賀市の土地利用状況は、総面積約 10,081ha のうち、宅地が 52.8%、森林が 28.6%、道路が 9.5%となっている。また、事業実施区域内には、公共空地としてうみかぜ公園が整備され、図 2-2-4 のとおり公園内には植栽と芝生広場があり、自然の植物は見られない。

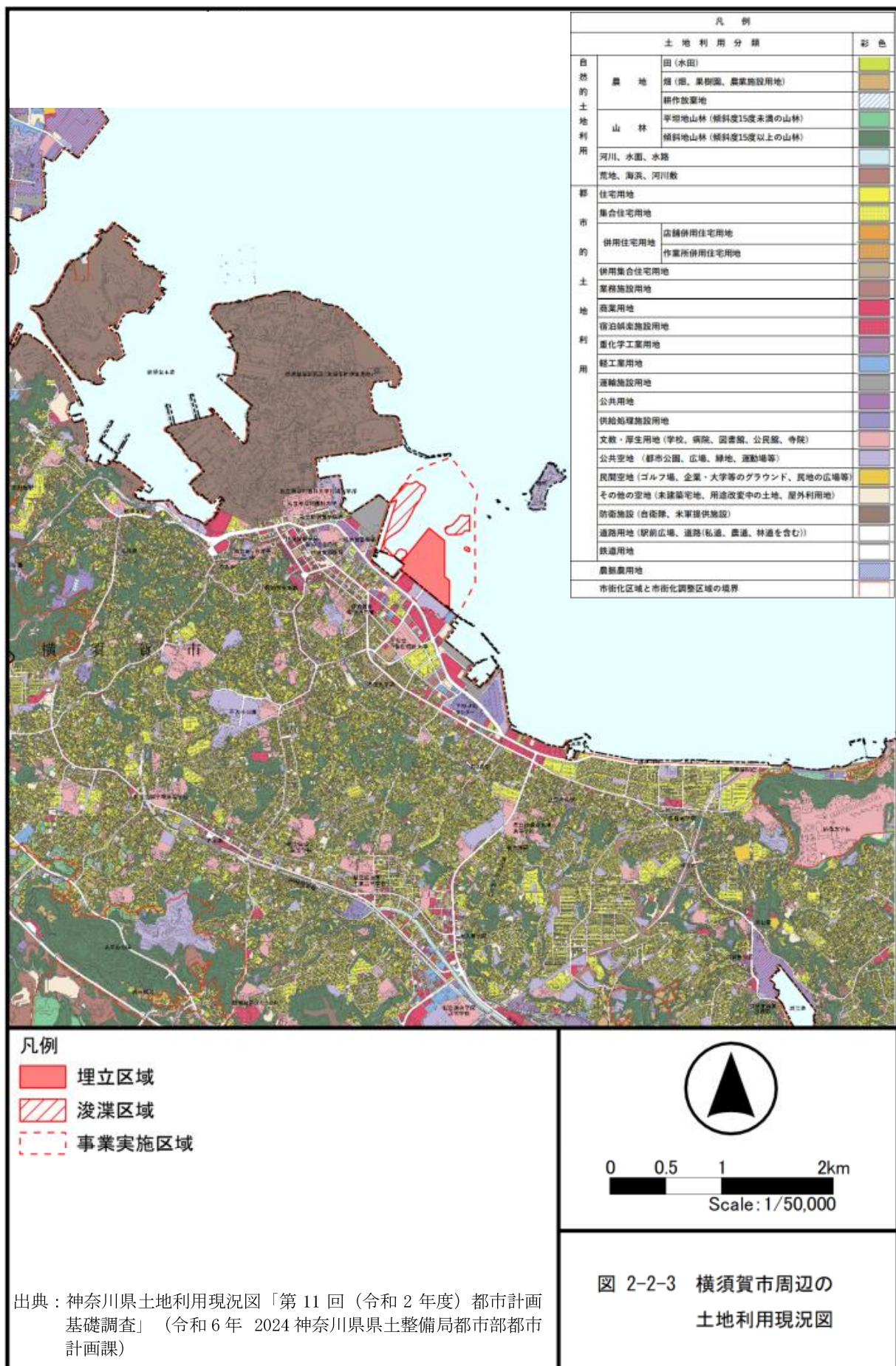
表 2-2-8 利用区分別土地面積

区別	横須賀市	神奈川県
田・畑(ha)	508 (5.0%)	18,000 (7.4%)
森林(ha)	2,886 (28.6%)	93,799 (38.8%)
水面・河川・水路(ha)	60 (0.6%)	9,348 (3.9%)
道路(ha)	956 (9.5%)	20,379 (8.4%)
宅地(ha)	5,322 (52.8%)	67,122 (27.8%)
その他(ha)	348 (3.5%)	32,984 (13.7%)
計(ha)	10,081 (100.0%)	241,632 (100.0%)

注1：「その他」は概数を計上しているため、計とその内訳が一致しない。

注2：() 内の数値は割合を表し、計は端数処理により一致しない。

出典：令和5年度土地統計データとリンク集（令和6年6月閲覧、神奈川県ホームページ）



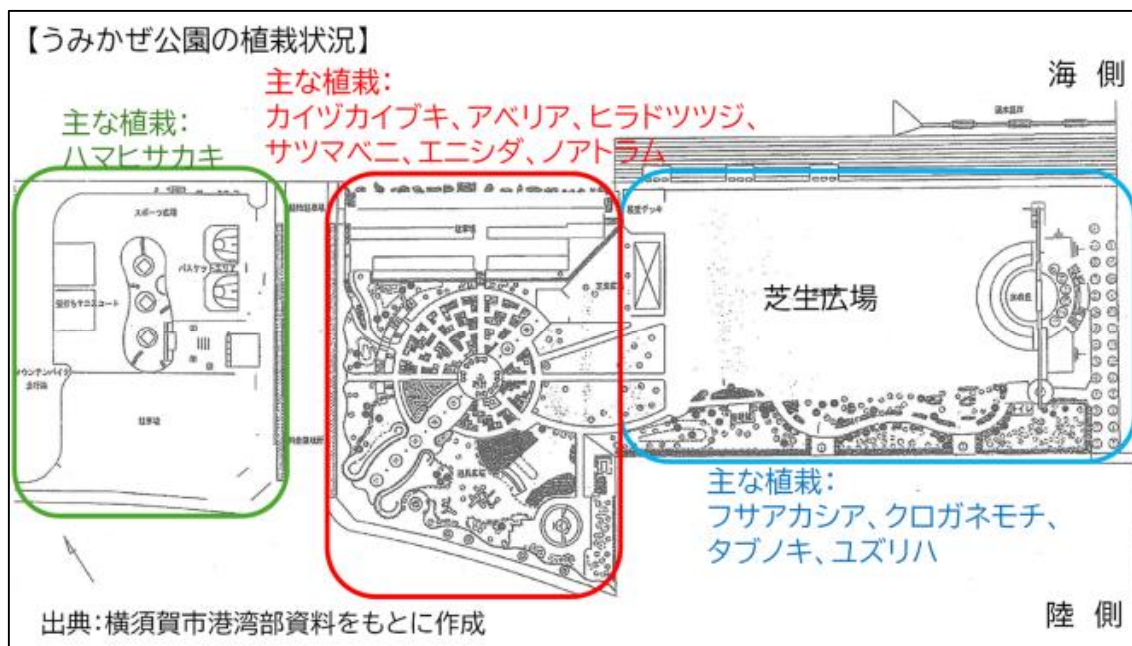


図 2-2-4 うみかぜ公園における植栽の分布状況

(3) 法令に基づく用途区分の状況

横須賀市における用途地域指定状況は表 2-2-9 に示す。事業実施区域周辺の用途地域指定状況は図 2-2-5 に示す。

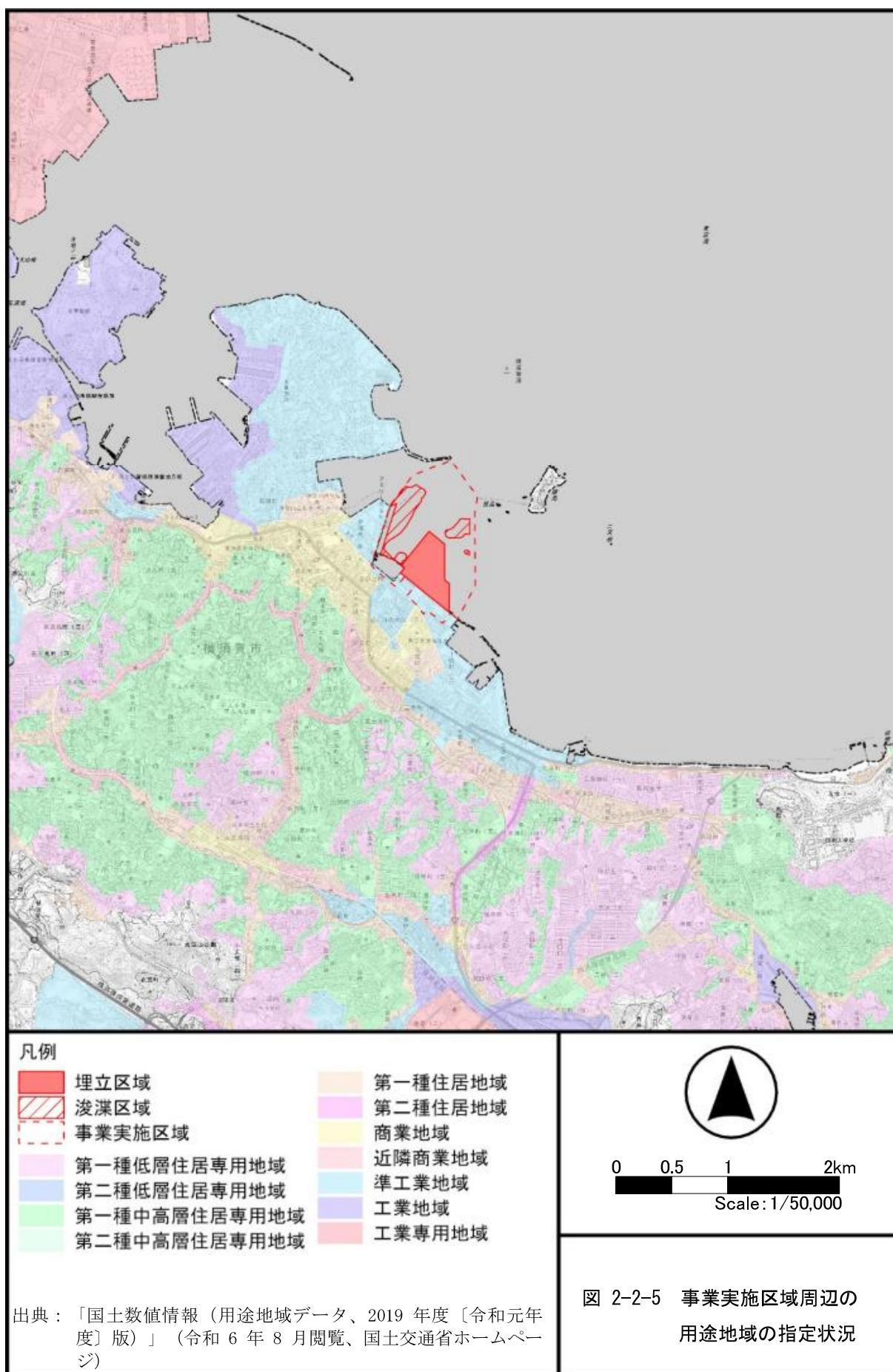
用途地域指定は総面積が 6,627ha であり、住居地域が 69.8%、商業地域が 5.1%、工業地域が 25.1%である。事業実施区域周辺は「準工業地域」や「商業地域」に区分されている。

表 2-2-9 用途地域指定状況

単位:ha

総面積	第一種低層住居 専用地域	第二種低層住居 専用地域	第一種中層住居 専用地域	第二種中層住居 専用地域	第一種住居地域	第二種住居地域	近隣商業地域	商業地域	準工業地域	工業地域	工業専用地域
6,627 (100.0%)	1,740 (26.3%)	11 (0.2%)	1,968 (29.7%)	60 (0.9%)	741 (11.2%)	106 (1.6%)	180 (2.7%)	160 (2.4%)	713 (10.8%)	457 (6.9%)	491 (7.4%)

出典：横須賀市の都市計画（資料編） 令和6年4月



出典：「国土数値情報（用途地域データ、2019 年度〔令和元年度〕版）」（令和 6 年 8 月閲覧、国土交通省ホームページ）

5) 交通

(1) 陸上交通

ア. 道路交通網の状況

事業実施区域周辺の主な道路交通網の状況を図 2-2-6 に示す。

これによると、事業実施区域周辺には、一般国道 16 号や一般国道 134 号、県道 26 号（横須賀三崎）、市道 7185 号（小川三春/よこすか海岸通り）が存在する。

イ. 交通事故の状況

横須賀市及び神奈川県令和 5 年の交通事故発生状況を表 2-2-10 に示す。

これによると、横須賀市では、令和 5 年に 1,130 件の交通事故が発生しており、4 人が死亡、1,329 人が負傷している。

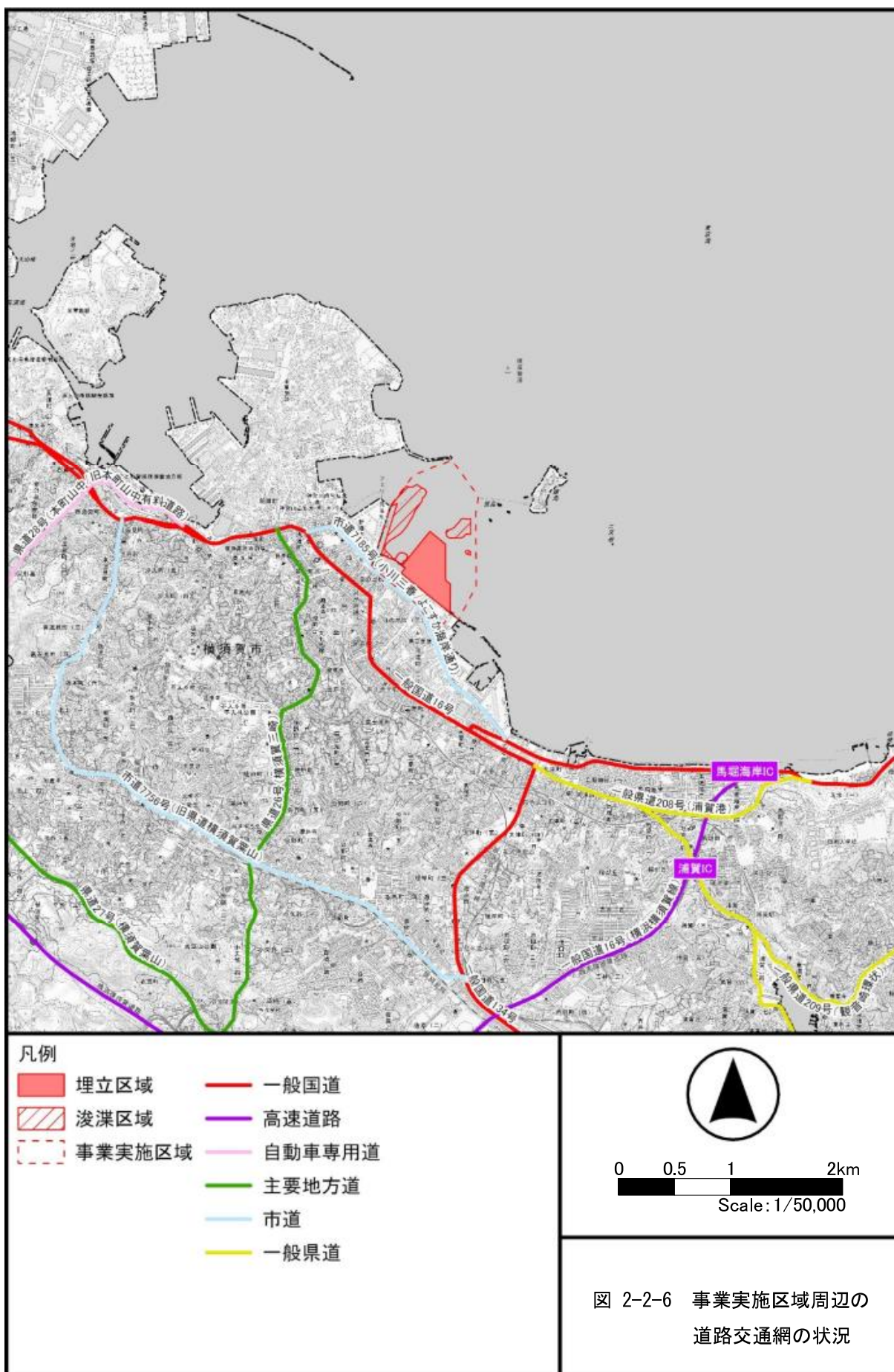
そのほか、事業実施区域周辺の交通事故多発地点を図 2-2-7 に示す。

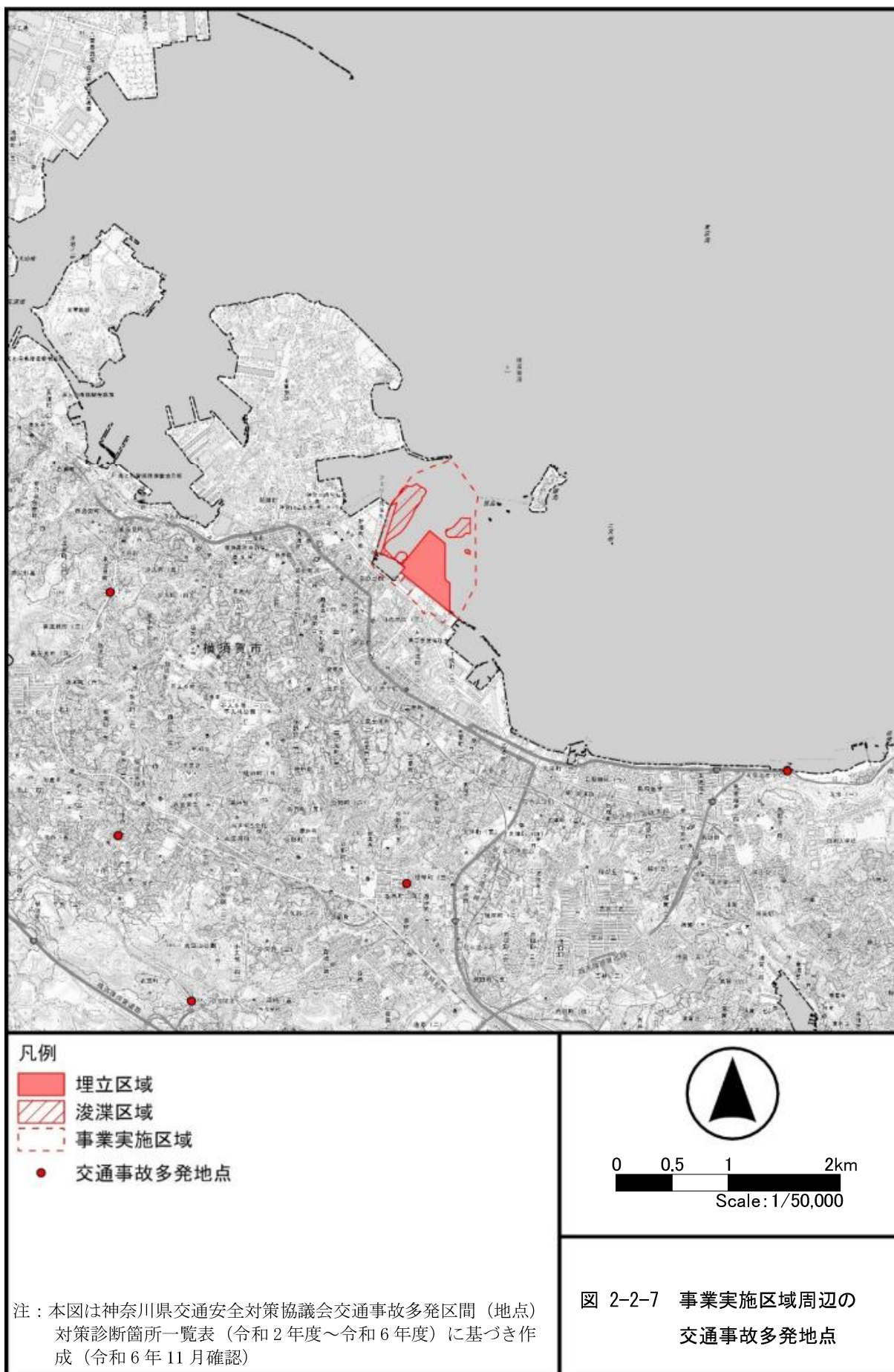
表 2-2-10 交通事故発生状況（令和 5 年）

区分 区域	交通事故			自動車	二輪車	自転車	歩行者
	発生件数 (件)	死者 (人)	負傷者 (人)	死者 (人)	死者 (人)	死者 (人)	死者 (人)
横須賀市	1,130	4	1,329	0	4	0	0
神奈川県	21,870	115	25,644	14	41	12	48

注：神奈川県の数値は高速道路等での交通事故の数も含む。

出典：「交通事故統計（令和 5 年 12 月、くらし安全防災局くらし安全部くらし安全交通課）」（令和 6 年 8 月閲覧、神奈川県ホームページ）





ウ．道路交通量の状況

事業実施区域周辺の令和３年度一般交通量調査結果を表 2-2-11 に調査位置図を図 2-2-8 に示す。

これによると、事業実施区域周辺の 24 時間自動車交通量およびピーク時間交通量は、高速道路（番号 3、4、5）を除き、一般国道 134 号（番号 6）が最も多く、次いで、一般国道 16 号（番号 2）であった。

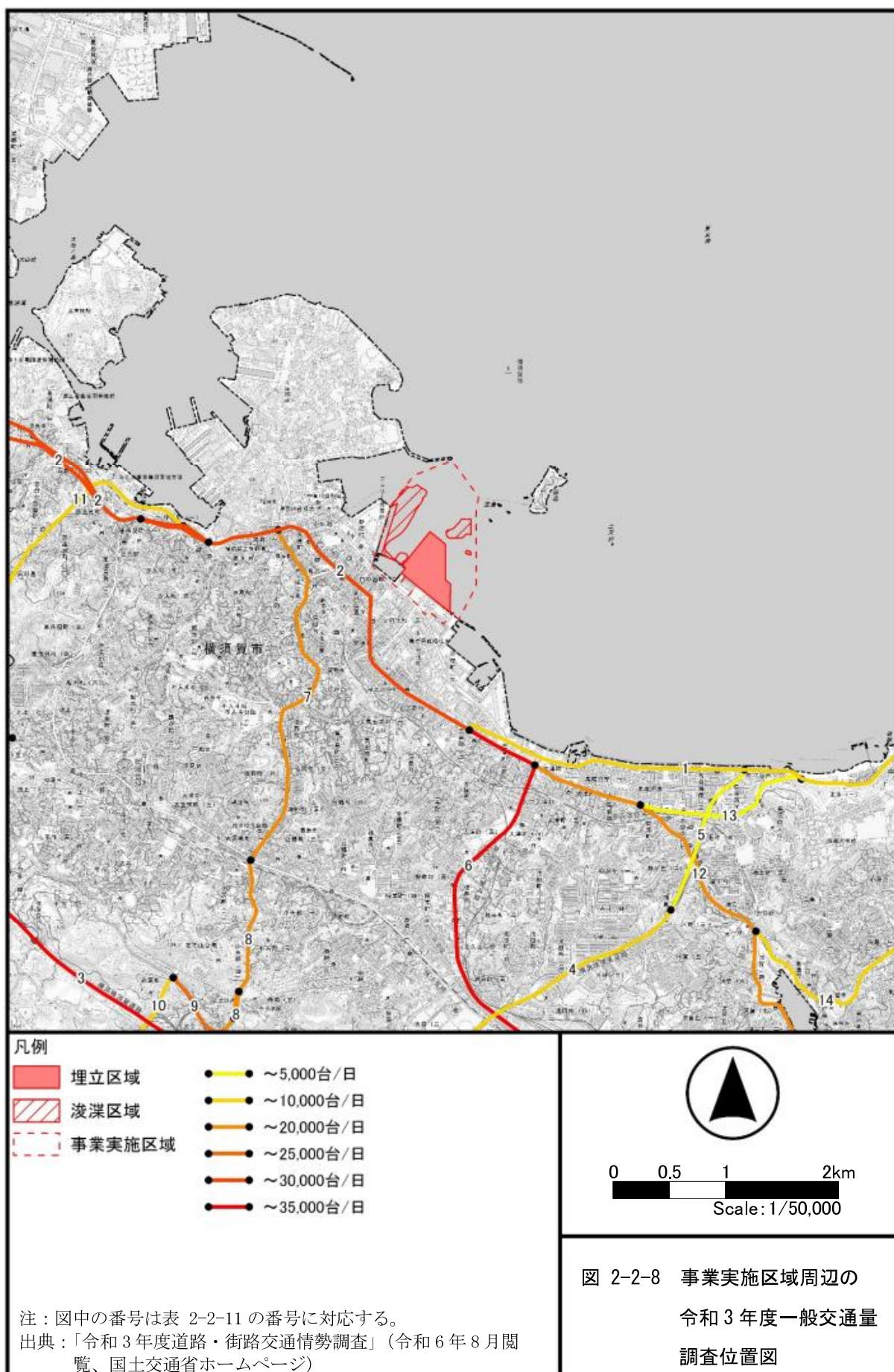
表 2-2-11 令和３年度一般交通量調査結果

番号	交通量 調査単位 区間番号	路線名	路線 番号	観測地点	24 時間 自動車 交通量 (台/日)	ピーク時間 交通量	
						時刻	台数 (台/時)
1	13010	一般国道 16 号	16	横須賀市馬堀海岸 4 丁目 1-50	8,616	17	725
2	13020	一般国道 16 号	16	横須賀市三春町 2 丁目	25,273	17	1,900
3	13060	一般国道 16 号(横浜横須賀道路)	16	横須賀～衣笠	33,872	7	2,886
4	13080	一般国道 16 号(横浜横須賀道路)	16	佐原 IC～浦賀 IC	6,271	18	615
5	13090	一般国道 16 号(横浜横須賀道路)	16	浦賀 IC～馬堀海岸 IC	2,606	17	202
6	18010	一般国道 134 号	134	横須賀市大津町 1 丁目 6-20	31,689	17	2,177
7	41010	県道 26 号(横須賀三崎)	26	横須賀市佐野町 2 丁目 2-13	16,160	17	1,118
8	41020	県道 26 号(横須賀三崎)	26	横須賀市小矢部 4 丁目 1-1	18,609	9	1,215
9	41040	県道 27 号(横須賀葉山)	27	－	22,849	8	1,561
10	41060	県道 26 号(横須賀三崎/三浦縦貫道路)	26	横須賀市太田和 3 丁目	5,195	15	423
11	47610	県道 28 号(本町山中/旧本町山中 有料道路)	28	横須賀市吉倉町 2 丁目	8,216	8	626
12	61010	一般県道 208 号(浦賀港)	208	横須賀市馬堀町 2 丁目 1-10	17,884	8	1,236
13	61210	一般県道 209 号(観音崎環状)	209	－	2,189	14	204
14	61220	一般県道 209 号(観音崎環状)	209	横須賀市鴨居 1 丁目 2-16	8,353	11, 16	632

注 1：表中の番号は図 2-2-8 の番号に対応する。

注 2：表中の斜体は推計値を示す。

出典：「令和３年度道路・街路交通情勢調査」（令和 6 年 8 月閲覧、国土交通省ホームページ）



騒音規制法第 18 条の規定に基づいた自動車騒音常時監視調査における交通量観測結果を表 2-2-12 及び図 2-2-9 に示す。これによると、事業実施区域周辺の 24 時間自動車交通量は、高速道路（番号 6）を除き、一般国道 16 号線②（番号 8）が最も多く、次いで、一般国道 134 号①（番号 4）が多くなった。

表 2-2-12 自動車騒音常時監視調査結果（通過交通量）

番号	調査年度	調査区間名	観測地点	24 時間自動車交通量（台/日）
1	R5	一般国道 16 号③	横須賀市三春町 2-12 地先	25,842
2	R5	市道 7756 号	横須賀市公郷町 2-21-2 地先	17,778
3	R5	県道観音崎環状①	横須賀市馬堀海岸 4-2 地先	4,884
4	R4	一般国道 134 号①	横須賀市大津町 3-3-1 地先	28,452
5	R4	県道横須賀三崎②	横須賀市小矢部 3-3-4 地先	16,698
6	R4	横浜横須賀道路②	横須賀市阿部倉 32 地先	32,634
7	R4	三浦縦貫道路	横須賀市太田和 3-797-1 地先	5,052
8	R4	一般国道 16 号②	横須賀市港が丘 1-4-1 地先	38,490
9	R3	県道横須賀三崎①	横須賀市佐野町 3-9	15,600
10	R3	一般国道 16 号④⑤	横須賀市馬堀海岸 2-39-1	11,136
11	R2	本町山中有料道路	横須賀市西逸見町 3 丁目 109 地先	6,636
12	R2	市道 7185 号	横須賀市日の出町 1 丁目 4 地先	15,102
13	R2	横浜横須賀道路③	横須賀市吉井 3 丁目 21-1 地先	6,306
14	R2	県道浦賀港線	横須賀市大津町 1 丁目 21 地先	14,202
15	R2	市道 7755 号（旧県道横須賀葉山⑤）	横須賀市池上 3 丁目 1 地先	14,850
16	R2	県道横須賀葉山④（旧市道 7565 号）	横須賀市阿部倉 14 地先	20,346
17	R1	県道観音崎環状②	横須賀市鴨居 1 丁目 4-17 先	7,704*

注 1：表中の番号は図 2-2-9 の番号に対応する。

注 2：番号 17 の 24 時間自動車交通量として 10 分間観測結果を 6 倍した数値を示す。

出典：「令和元年度 自動車騒音常時監視結果報告（令和 2 年 3 月）」（令和 6 年 8 月閲覧、横須賀市提供資料）
「令和 2 年度 自動車騒音の常時監視及び振動調査業務委託（令和 3 年 3 月）」（令和 6 年 8 月閲覧、横須賀市提供資料）
「令和 3 年度 自動車騒音の常時監視及び振動調査業務委託（令和 4 年 3 月）」（令和 6 年 8 月閲覧、横須賀市提供資料）
「令和 4 年度 自動車騒音の常時監視及び振動調査業務委託（令和 5 年 3 月）」（令和 6 年 8 月閲覧、横須賀市提供資料）
「令和 5 年度 自動車騒音の常時監視及び振動調査業務委託（令和 6 年 3 月）」（令和 6 年 8 月閲覧、横須賀市提供資料）

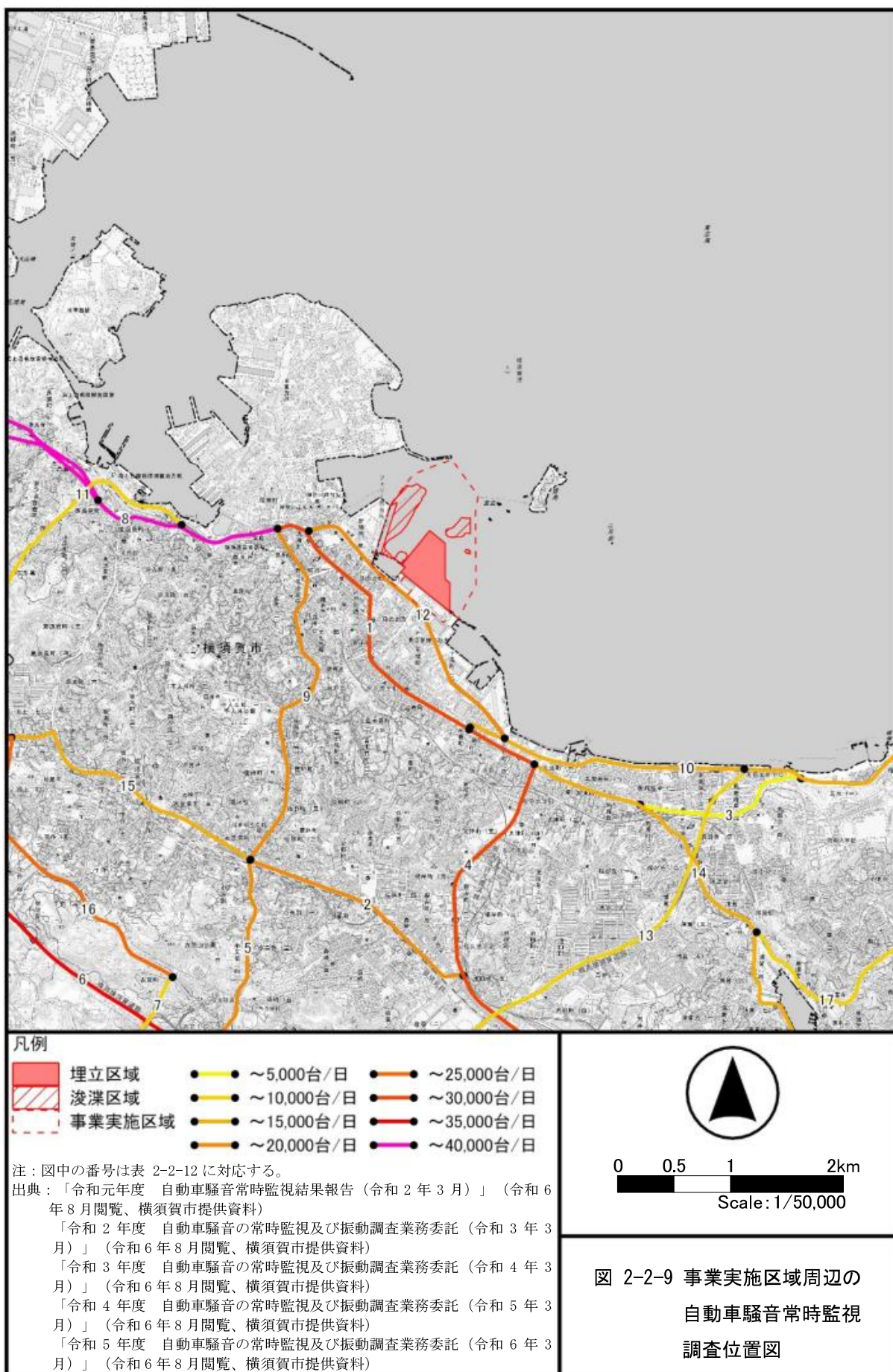
そのほか、横須賀市が実施した新港地区周辺の交通量調査結果を表 2-2-13 及び図 2-2-10 に示す。これによると、事業実施区域周辺の 24 時間自動車交通量は、一般国道 16 号線（番号 1）が最も多く、次いで、一般国道 134 号（番号 3）が多くなった。

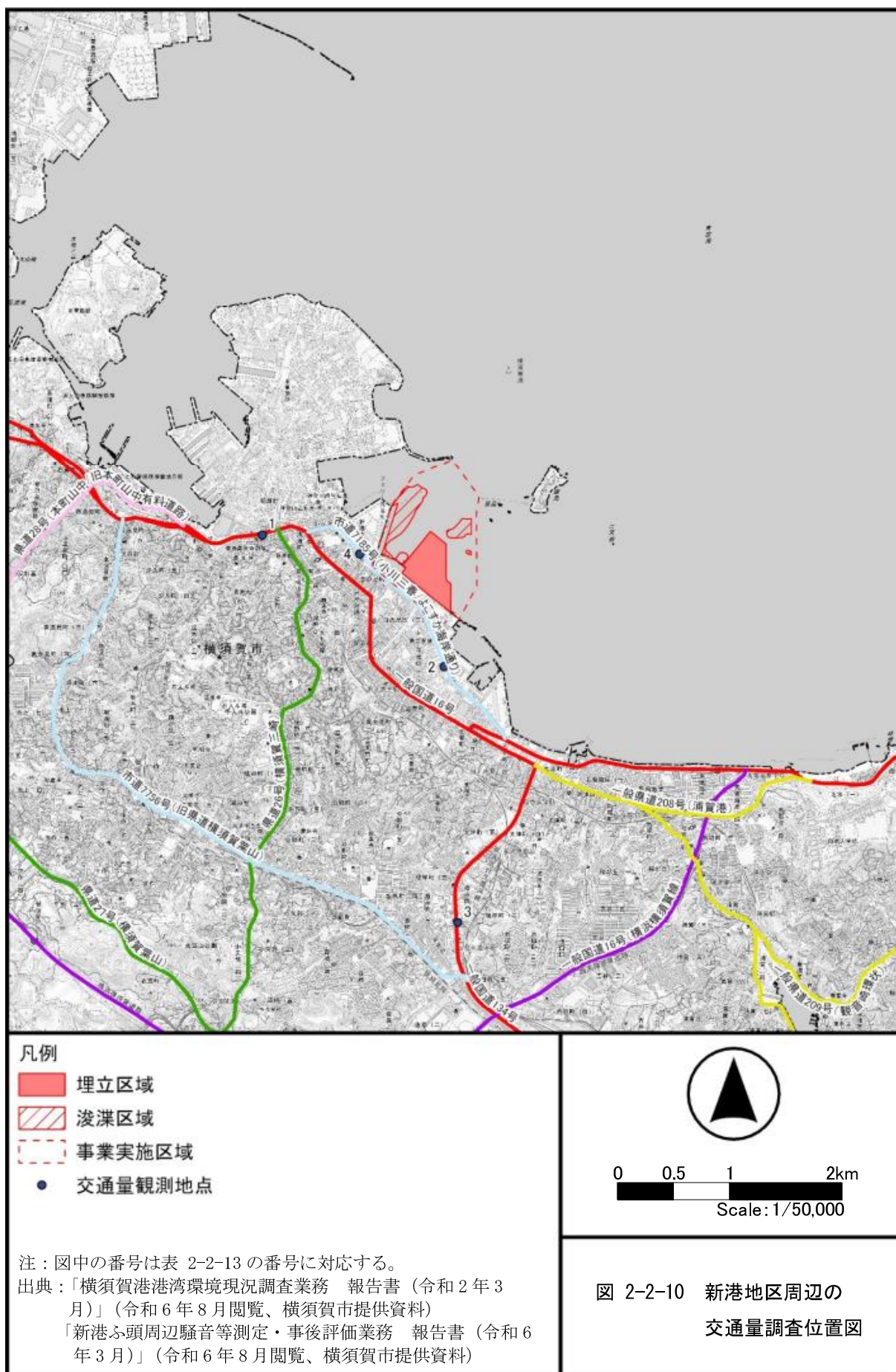
表 2-2-13 新港地区周辺交通量観測結果

番号	調査年度	調査区間名	観測地点	24 時間自動車交通量（台/日）
1	R2	一般国道 16 号	本町 1 丁目 4 番地	36,906
2	R2	市道 7185 号	平成町 2 丁目 7 番地	20,166
3	R2	一般国道 134 号	根岸町 1 丁目 10 番地	24,709
4	R5	市道 7185 号	日の出町 1 丁目地先	15,401

注：表中の番号は図 2-2-10 の番号に対応する。

出典：「横須賀港港湾環境現況調査業務（令和 2 年 3 月）」（令和 6 年 8 月閲覧、横須賀市提供資料）
「新港ふ頭周辺騒音等測定・事後評価業務（令和 6 年 3 月）」（令和 6 年 8 月閲覧、横須賀市提供資料）





(2) 鉄道等

ア. 鉄道網の状況

事業実施区域周辺の鉄道網及び鉄道駅の状況を図 2-2-11 に示す。

これによると、事業実施区域近傍には、東西方向に延びた京浜急行電鉄本線及び JR 横須賀線が存在する。

イ. 鉄道の利用状況

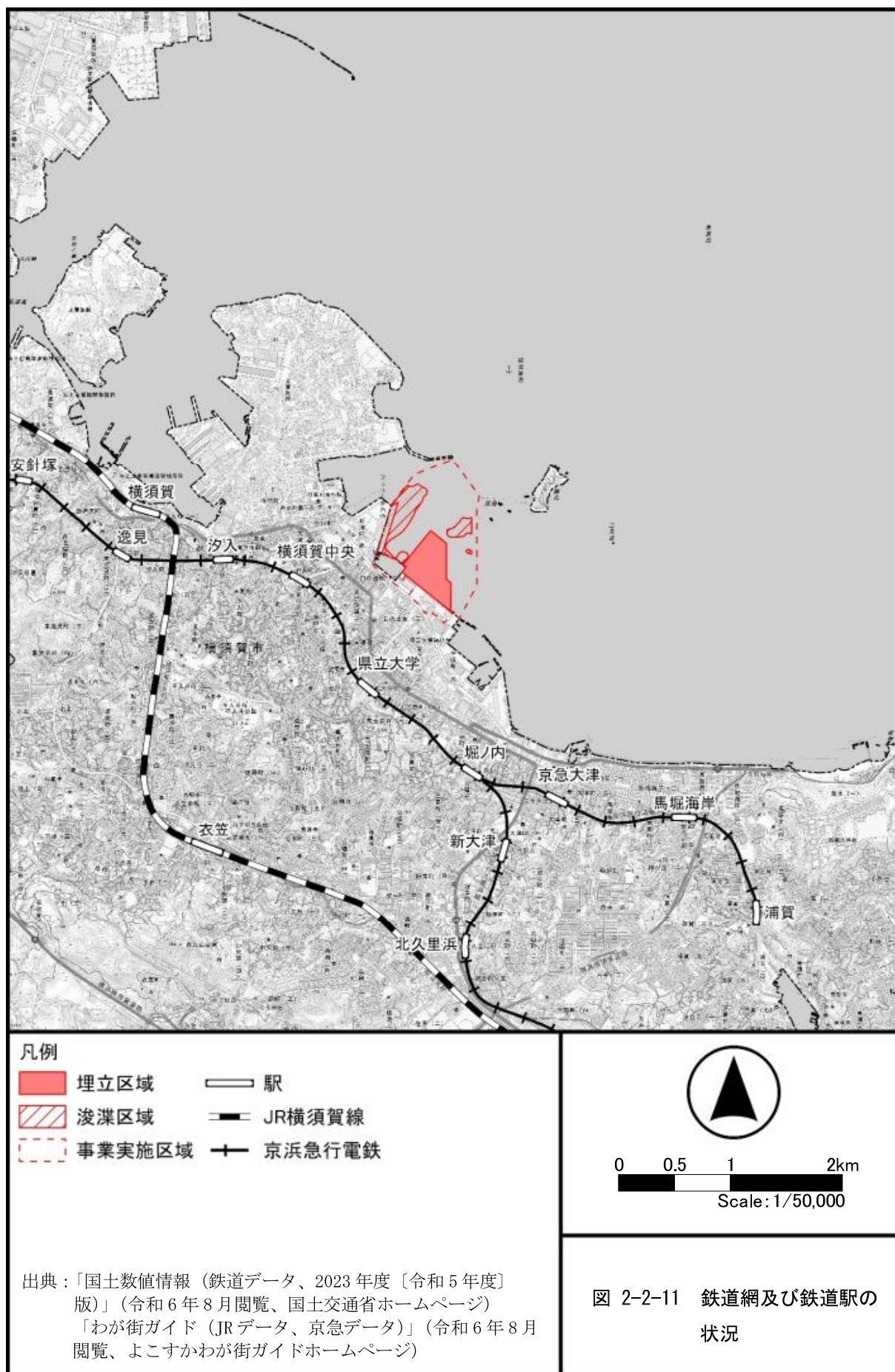
事業実施区域周辺の鉄道駅の利用状況を表 2-2-14 に示す。

これによると、事業実施区域周辺で利用者が最も多い駅は、京浜急行電鉄本線の横須賀中央駅で、令和 4 年度の乗車人員は年間 10,552,653 人であった。

表 2-2-14 事業実施区域周辺の鉄道駅の利用状況（年間）

鉄道名称	駅名称	乗客数（人）		
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
京浜急行電鉄本線	安針塚	657,348	698,374	744,482
	逸見	708,542	743,476	816,751
	汐入	2,880,488	3,175,286	3,524,039
	横須賀中央	9,057,691	9,820,821	10,552,653
	県立大学	1,638,152	1,791,051	1,927,761
	堀ノ内	1,739,647	1,849,417	1,981,771
	京急大津	687,775	750,939	798,214
	馬堀海岸	1,207,350	1,271,077	1,392,392
	浦賀	2,775,753	2,863,057	3,000,907
京浜急行電鉄久里浜線	新大津	969,062	1,039,273	1,109,564
	北久里浜	3,596,090	3,819,235	4,017,853
東日本旅客鉄道横須賀線	横須賀	1,385,540	1,531,540	1,647,975
	衣笠	2,363,375	2,509,010	2,611,575

出典：「令和 5 年度版横須賀市統計書（令和 6 年 4 月）」（令和 6 年 8 月閲覧、横須賀市ホームページ）



ウ. バス路線の状況

事業実施区域周辺のバス路線等の状況を表 2-2-15 及び図 2-2-12 に示す。

これによると、実施区域近傍の主なバスの停留所として、横須賀合同庁舎前、日の出町三丁目、リヴィン前、平成町二丁目、ハローワーク横須賀が設置されている。

表 2-2-15 (1) 事業実施区域周辺のバス路線の運行状況

系統 番号	起点	経由地	終点
須 1	横須賀駅	横須賀中央駅・聖徳寺坂上	衣笠駅
須 3	横須賀駅	横須賀中央駅・林	横須賀市民病院
須 4	横須賀駅	横須賀中央駅・市民病院	佐島マリーナ入口
須 5	横須賀駅	横須賀中央駅・林	長井
須 8	横須賀駅	横須賀中央駅・長井	三崎口駅
須 9	横須賀駅	湘南池上循環	横須賀駅
須 10	横須賀駅	坂本坂上	衣笠駅
須 11	横須賀駅	武山	YRP センター
須 12	横須賀駅	市役所前・米ヶ浜	横須賀駅
須 13	横須賀駅	横須賀中央駅・平成町	横須賀駅
須 18	横須賀駅	総合体育会館	衣笠駅
須 20	横須賀駅	西来寺→鶴ヶ丘	横須賀駅
須 21	横須賀駅	鶴ヶ丘→西来寺	横須賀駅
須 22	JR 横須賀駅	馬堀海岸	防衛大学校
	JR 横須賀駅	日ノ出町・馬堀海岸	防衛大学校
須 24	JR 横須賀駅	馬堀海岸	観音崎
	JR 横須賀駅	日ノ出町・馬堀海岸	観音崎
須 26	JR 横須賀駅	浦賀駅	かもめ団地
須 27	JR 横須賀駅	横須賀中央駅	堀内
須 28	JR 横須賀駅	馬堀海岸	観音崎自然博物館
須 53	横須賀駅	横須賀中央駅・山科台	横須賀市民病院
堀 23	堀内駅	馬堀海岸	立野団地
馬 22	馬堀海岸	馬堀中学	防衛大学校
馬 23	馬堀海岸	馬堀中学	立野団地
馬 24	馬堀海岸	馬堀中学	観音崎
浦 2	浦賀駅	協方	かもめ団地
浦 3	浦賀駅	腰越	観音崎
浦 5	浦賀駅	浦賀丘	浦賀丘三丁目公園
北久 11	北久里浜駅	森崎団地	森崎リアンシティ
北久 12	JR 久里浜駅	工業団地	北久里浜駅
北久 13	北久里浜駅	岩戸	YRP 野比駅
北久 14	北久里浜駅・佐原橋	大矢部循環	北久里浜駅
北久 15	北久里浜駅	大矢部循環	JR 久里浜駅
北久 16	北久里浜駅	大矢部	YRP 野比駅
北久 17	北久里浜駅	森崎リアンシティ	衣笠十字路
北久 18	北久里浜駅	大矢部・岩戸支援学校	北久里浜駅
久 9	京急久里浜駅	開国橋	千代ヶ崎
久 10	JR・京急久里浜駅	高坂	浦賀駅
久 11	JR 久里浜駅	森崎団地	森崎リアンシティ
久 13	JR 久里浜駅	岩戸	YRP 野比駅
久 14	JR 久里浜駅	大矢部循環	北久里浜駅
久 16	JR 久里浜駅	大矢部	YRP 野比駅
久 17	JR 久里浜駅	森崎リアンシティ	衣笠十字路
久 19	京急久里浜駅	千代ヶ崎	浦賀駅
久 20	京急久里浜駅	安房口神社前	湘南山手

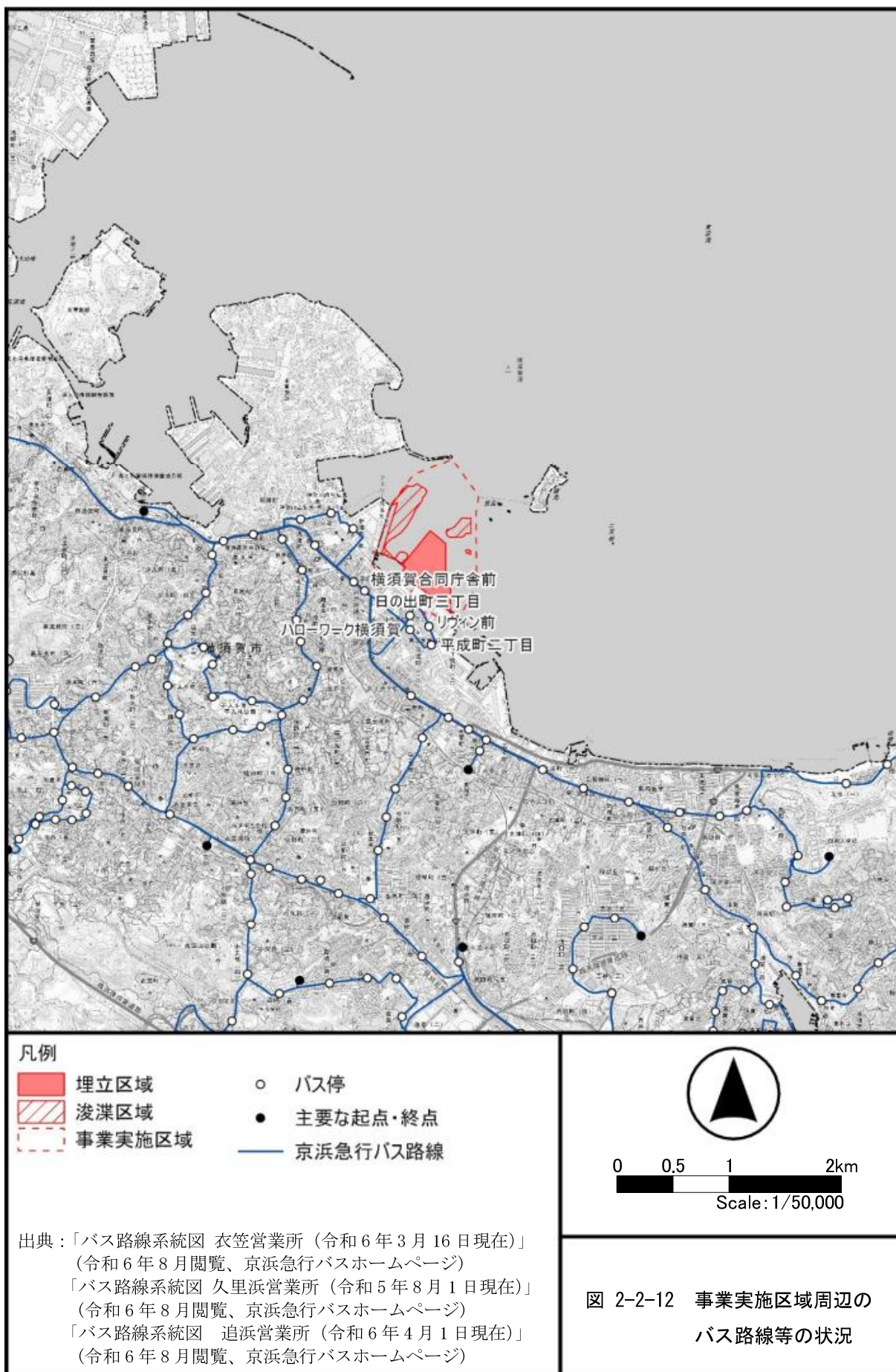
表 2-2-15 (2) 事業実施区域周辺のバス路線の運行状況

系統 番号	起点	経由地	終点
久 29	京急久里浜駅	開国橋	長瀬二丁目
野 3	YRP 野比駅	衣笠城址	衣笠十字路
中央 1	横須賀駅	三笠循環	横須賀駅
汐 10	汐入駅	坂本坂上	衣笠駅
汐 16	汐入駅	大楠登山口	湘南国際村センター前
衣 3	衣笠十字路	林	横須賀市民病院
衣 4	衣笠十字路	市民病院・湘南佐島なぎさの丘	佐島マリーナ入口
衣 5	衣笠十字路	林	長井
衣 6	衣笠十字路	長井	三崎口駅
衣 11	YRP センター	武山	衣笠十字路
衣 19	衣笠駅	横須賀中央駅・米ヶ浜	安浦二丁目
衣 25	衣笠駅	しょうぶ園	衣笠駅
衣 30	衣笠駅	公郷トンネル	堀内駅
衣 35	衣笠駅	五郎橋・湘南橋	JR 久里浜駅
逗 15	衣笠駅	池上十字路・葉山大道	逗子駅
八 31	内川橋	横須賀中央駅	安浦二丁目
追 34	安浦二丁目	日ノ出町・横須賀中央駅	追浜駅

出典：「バス路線系統図 衣笠営業所（令和 6 年 3 月 16 日現在）」（令和 6 年 8 月閲覧、京浜急行バスホームページ）

「バス路線系統図 久里浜営業所（令和 5 年 8 月 1 日現在）」（令和 6 年 8 月閲覧、京浜急行バスホームページ）

「バス路線系統図 追浜営業所（令和 6 年 4 月 1 日現在）」（令和 6 年 8 月閲覧、京浜急行バスホームページ）



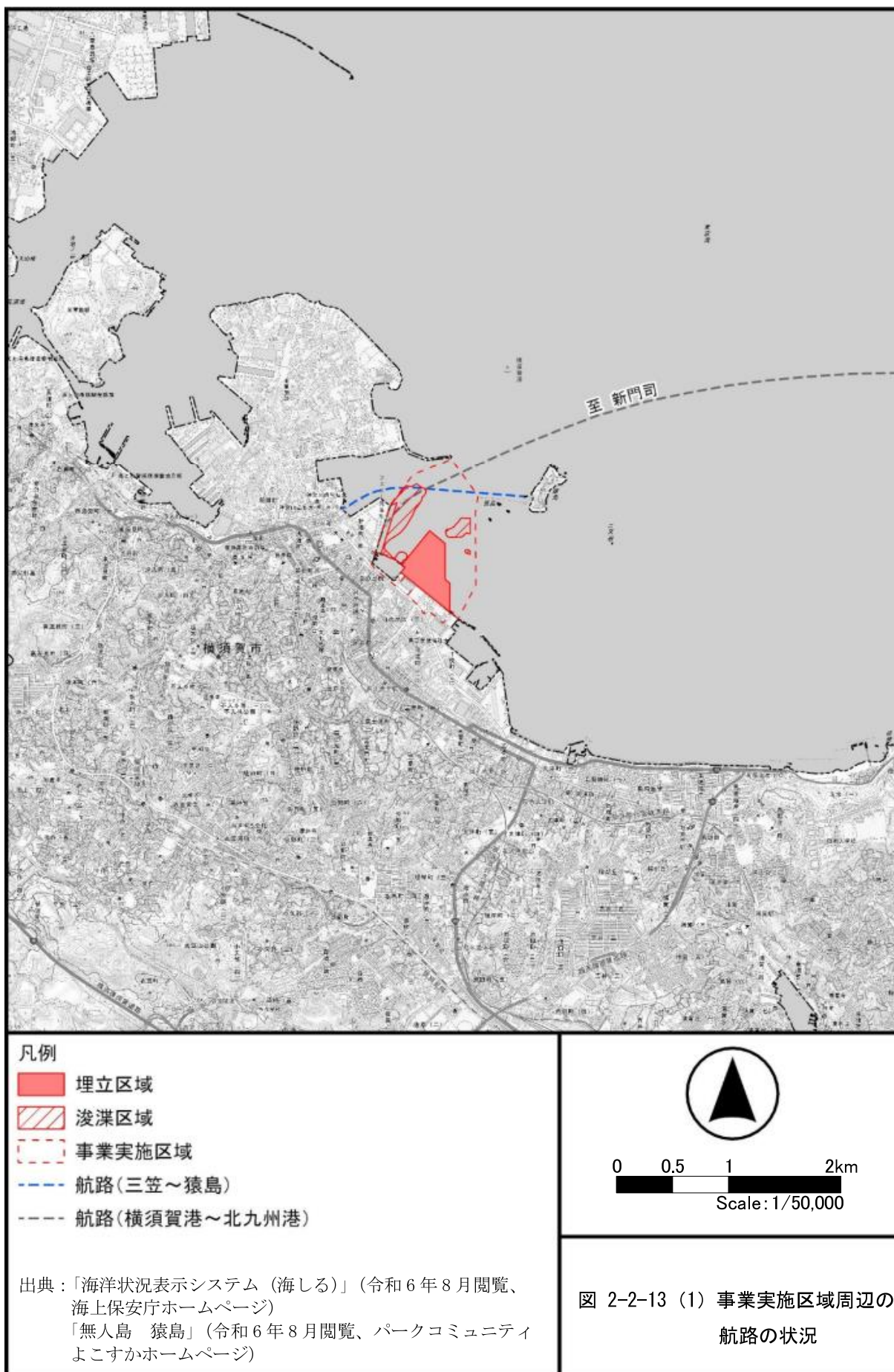
(3) 海上交通

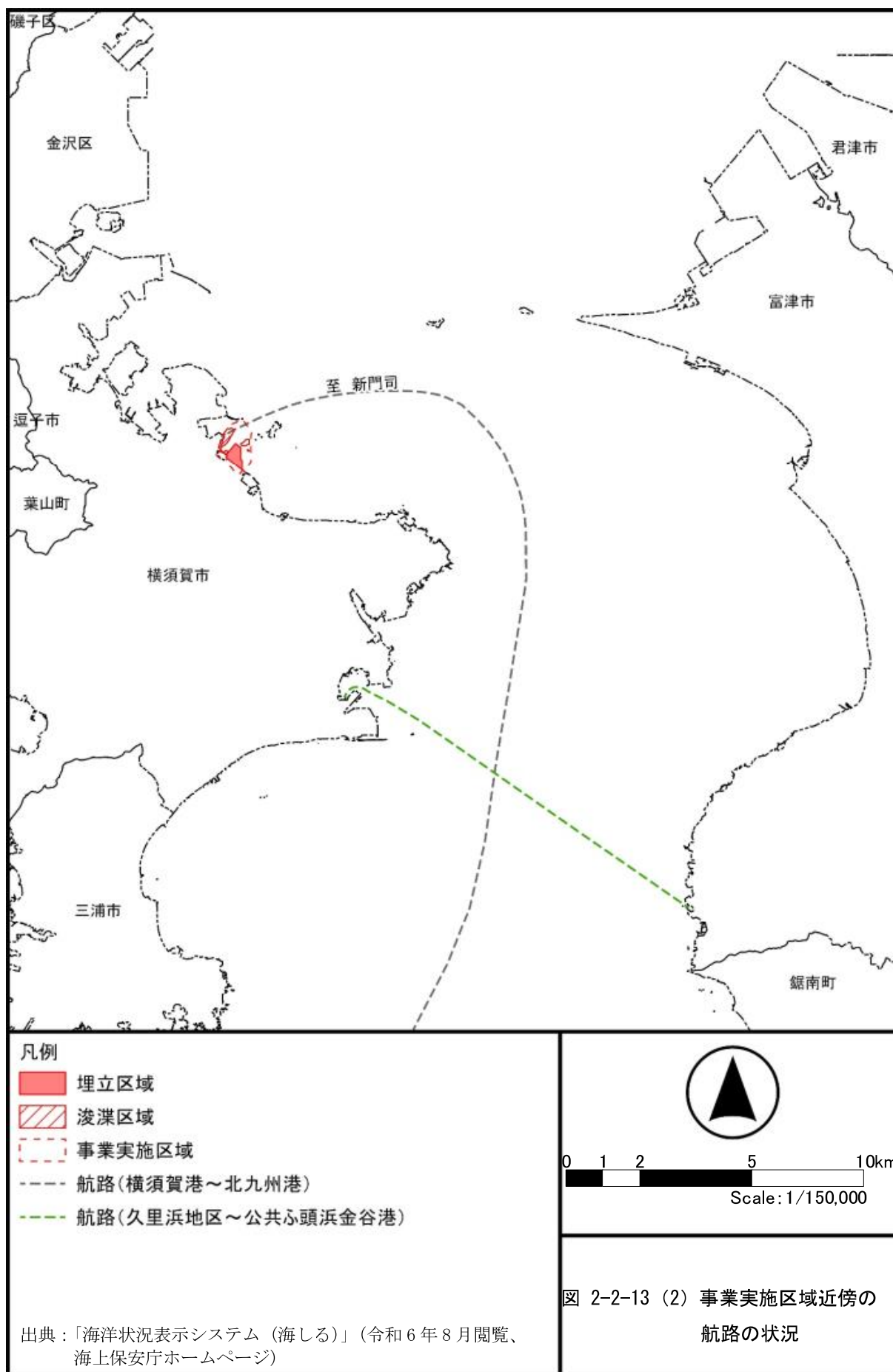
ア. 航路の状況

事業実施区域周辺における航路の状況を図 2-2-13 に示す。

これによると、事業実施区域周辺には、横須賀港と北九州港を結ぶ「横須賀～新門司航路」、三笠栈橋と猿島栈橋を結ぶ「猿島航路」が運航している。

そのほか、事業実施区域南側には、久里浜港と南房総金谷港を結ぶ「久里浜～金谷航路」が運航している。





6) 水利用

(1) 地下水及び湧水の利用状況

走水水源地は横須賀市内唯一の水源地であり、湧水取水位置は事業実施区域から東南東に約4.5kmであり、現在も1,000m³/日の供給能力を有する。万一の災害時には応急給水拠点としての機能を備えている。

地下水については横須賀市内で利用されていない。

(2) 河川及び水路の分布

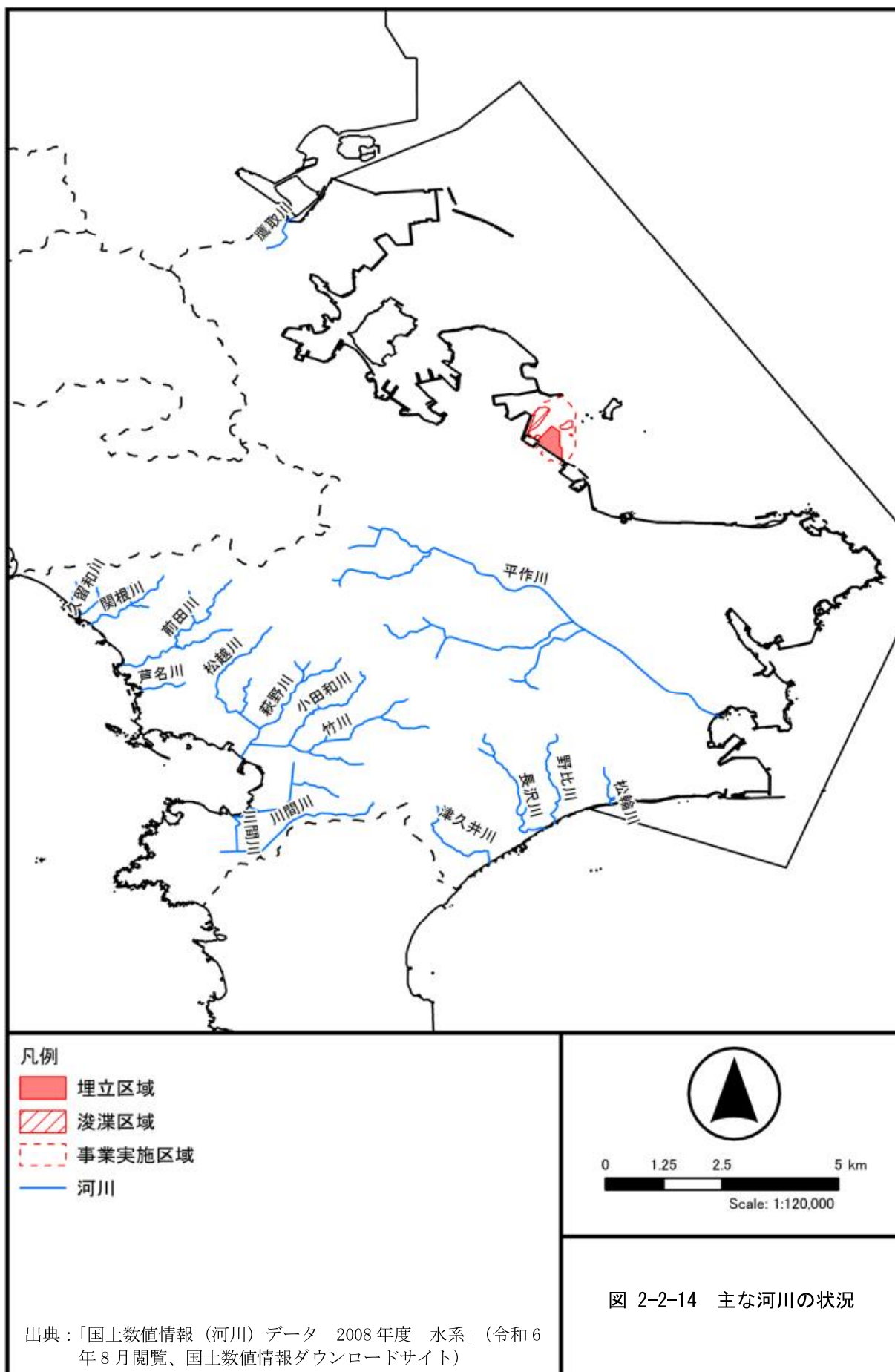
横須賀市の河川の分布は図 2-2-14 に、主な河川の状況は表 2-2-16 に示すとおりである。事業実施区域周辺には、河川流入は存在していない。

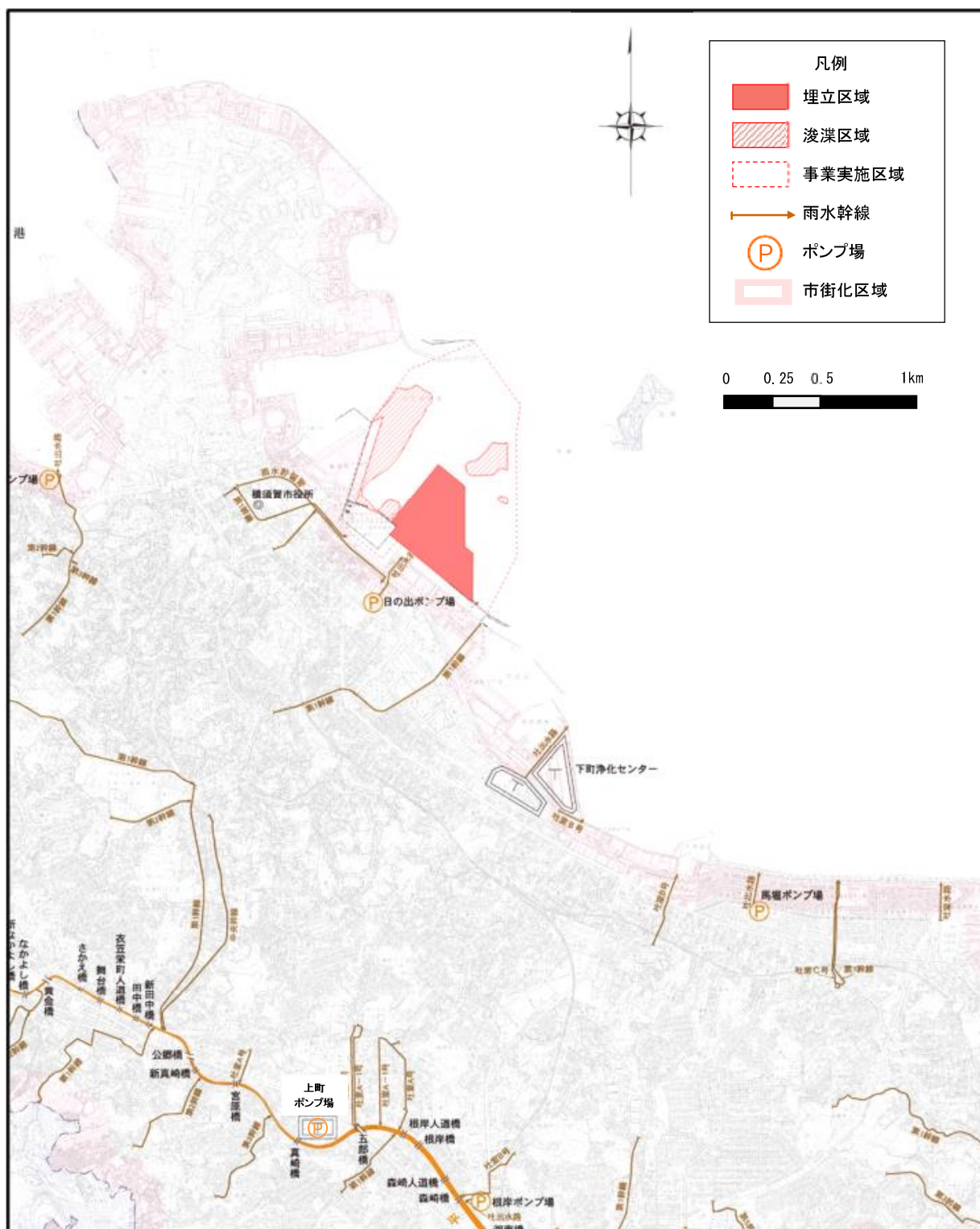
また、水路及びポンプ場の分布は図 2-2-15 に示すとおりであり、事業実施区域周辺では日の出ポンプ場からの雨水排水と、第一幹線からの雨水排水がある。

表 2-2-16 主な河川の状況

区分	河川名	河川延長 (m)	流域面積 (km ²)
二級河川	鷹取川	570	2.30
	平作川	7,070	26.08
	松越川	1,550	11.92
	竹川	1,940	6.73
準用河川	野比川	2,280	2.90
	長沢川	1,580	3.07
	津久井川	2,055	2.95
	川間川	390	3.63
	松越川	1,580	1.44
	竹川	1,430	2.07
	小田和川	2,300	2.45
	萩野川	1,910	2.26
	前田川	1,120	3.78

出典：令和4年度神奈川県土地統計資料集～データ
 で見る神奈川県の土地利用～（令和5年3
 月、神奈川県政策局政策部土地水資源対策
 課）





出典：横須賀市河川網図（平成 31 年 3 月、横須賀市）より作成

図 2-2-15 事業実施区域周辺の水路・ポンプ場

(3) 海域の利用状況

ア. 港湾区域の状況

横須賀港は三浦半島の東側、東京湾の湾口部に位置し、北は追浜地区から南は野比地区まで13地区により構成されている重要港湾であり、地域産業の生産活動を支える物流基盤として、また、房総半島や北九州とを結ぶフェリー基地として、そして人々が海を感じ親しめる場として、地域経済の発展と市民生活に大きな役割を果たしている。

横須賀港港湾区域は図 2-2-16 に示すとおりであり、事業実施区域は平成地区、新港地区に位置している。港湾区域面積は55,250,000㎡であり、臨港地区として追浜地区、長浦地区、新港地区、平成地区、鴨居地区、浦賀地区、長瀬地区、久里浜地区の8地区が指定されており、このうち、事業実施区域周辺の新港地区・平成地区における臨港地区の分区状況は図 2-2-17 に示すとおりである。

横須賀港の施設状況は表 2-2-17 に示すとおりである。

イ. 漁港区域の状況

事業実施区域周辺には漁港区域は指定されておらず、野比地区南部に北下浦漁港区域の一部がかかっている。漁業権の設定状況は図 2-2-18、図 2-2-19 に示すとおりである。図 2-2-18 より共同漁業権は事業実施区域内に設定されているが、図 2-2-19 より区画漁業権は事業実施区域には設定されていない。

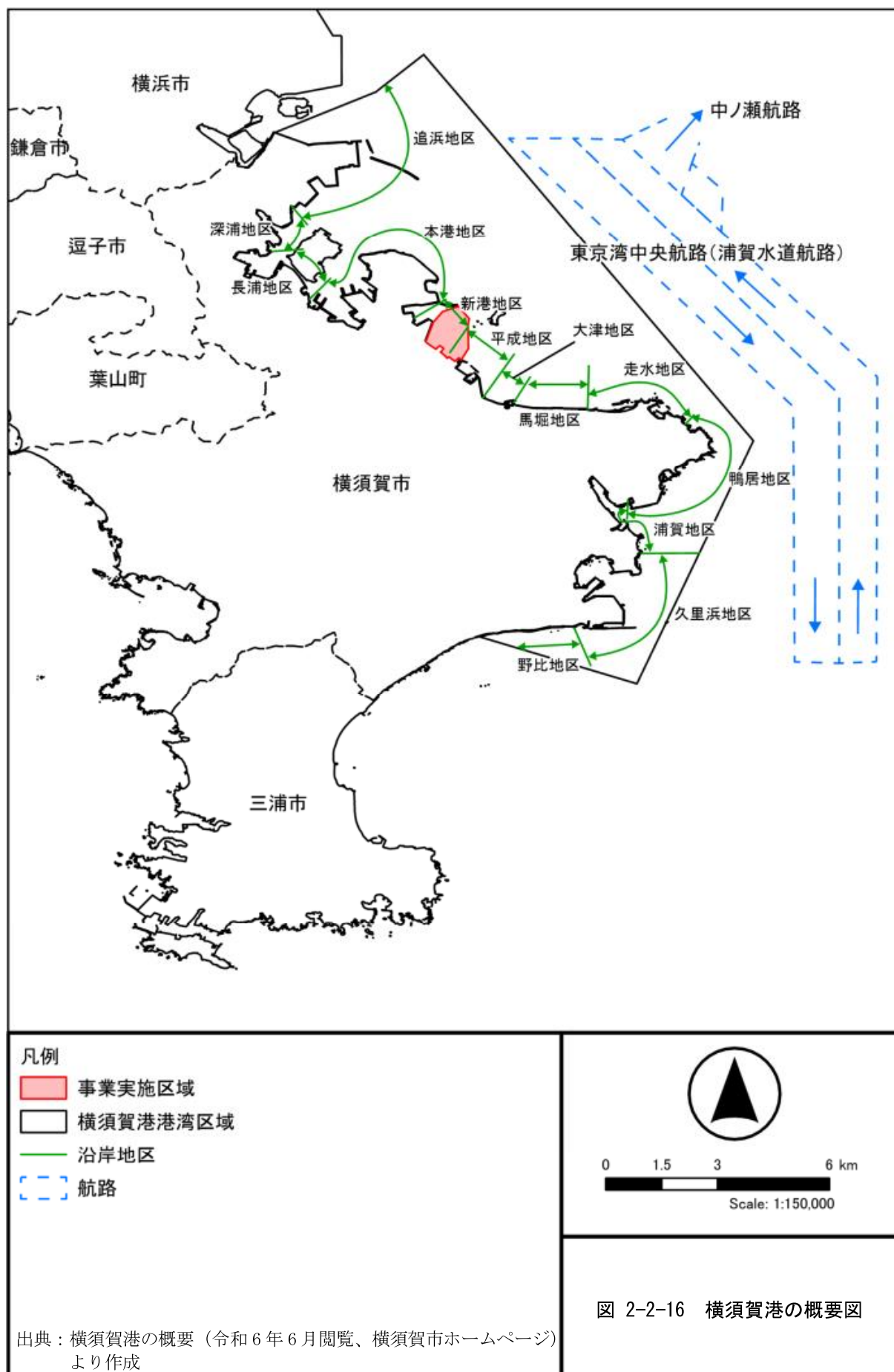
<用語解説>

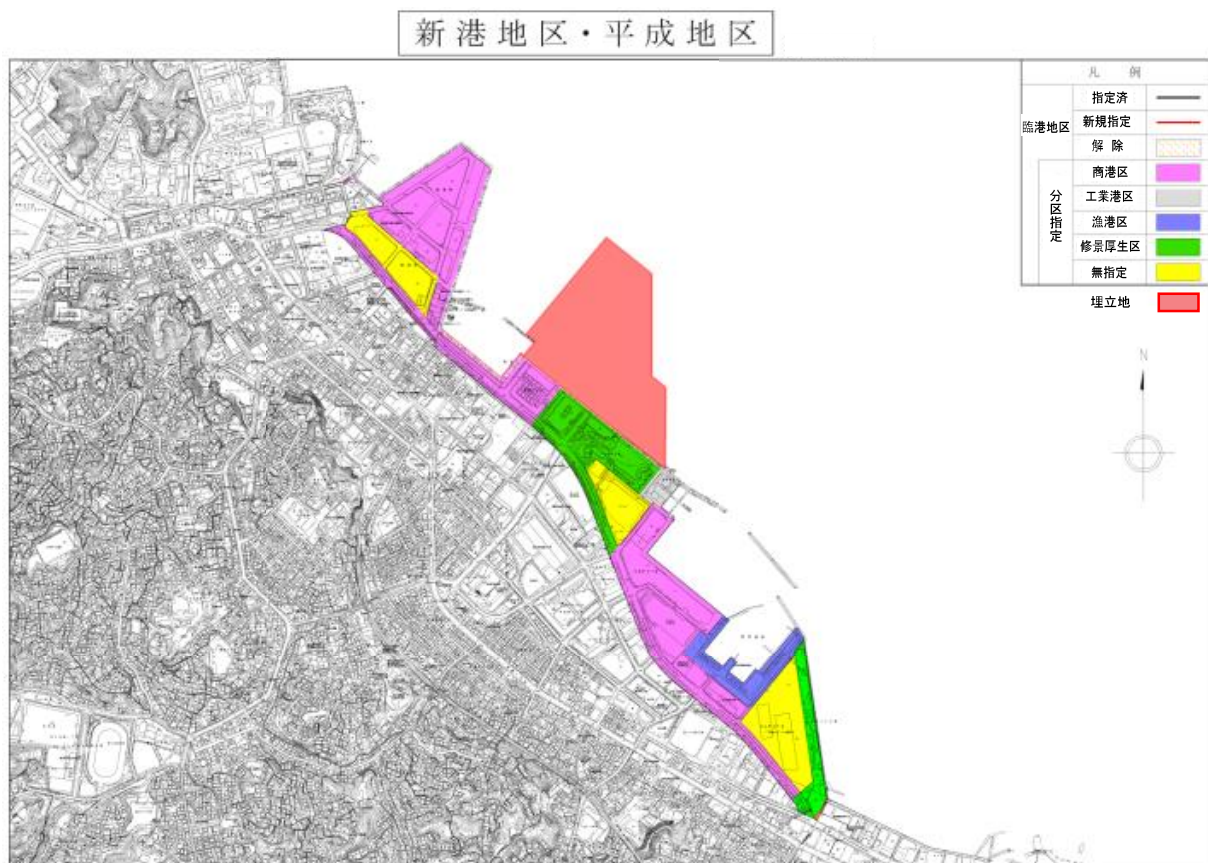
区画漁業権

区画漁業権とは、漁業法に基づいて一定の区域内で水面を区画して行う養殖業を営む権利である。養殖するための区画の仕方によって、のり、かき、真珠などの養殖業、えび、ぶりなどの魚類の養殖業、あさり、はまぐりなどの貝類の養殖業などに分類される。

共同漁業権

漁業協同組合（漁協）の組合員が一定の水域を共同で利用して漁業を営む権利である。日本の沿岸域のほとんどに設定されている。共同漁業権には第1種から第3種まであり、第1種はあわび、さざえ、なまこなどあまり移動しない水産動植物を採捕する漁業、第2種は建網や桁網を敷設するなどして魚類を待ち構えて獲る漁業、第3種は海底に人工漁礁等を設置して、そこに集まる魚類を採捕する漁業である。





出典：臨港地区指定状況 平成 22 年 12 月現在（令和 6 年 6 月閲覧、横須賀市ホームページ）

図 2-2-17 横須賀港臨港地区（新港地区・平成地区）における分区指定状況

表 2-2-17 横須賀港の港湾施設

令和6年4月現在

種別	地区名	名称	管理者	延長 (m)	水深 (m)	接岸能力 (D/W)	船席	主たる用途
公 共	追浜	夏島岸壁	横須賀市	120	-4.5	700	1	貨物船
	新港	新港1号岸壁	〃	200	-10.0	15,000	1	〃
		新港2号岸壁	〃	200	-10.0	15,000	1	〃
		新港3号岸壁	〃	240	-4.5	700	4	〃
		新港4号岸壁	〃	65	-4.5	700	1	〃
		新港1号栈橋	〃	90	-5.5	2,000	1	〃
		新港2号栈橋	〃	90	-5.5	2,000	1	〃
		新港3号栈橋	〃	130	-7.5	5,000	1	〃
	平成	平成1号岸壁	〃	120	-4.5	700	2	〃
		平成2号岸壁	〃	270	-5.5	2,000	3	〃
	久里浜	久里浜岸壁	〃	220	-6.5	3,000	2	貨物船
		久里浜1号岸壁	〃	260	-7.5~-9.0	16,000G/T	1	貨客船
		久里浜2号岸壁	〃	80	-5.0	1,000	1	旅客船
		長瀬岸壁	〃	140	-4.5	700	2	貨物船
計				2,225		22		
専 用	追浜	住重追浜造船所 艀装岸壁	住友重機械工業 (株)	656	-9.0	200,000 300,000	2	船舶艀装
		住重追浜造船所 水切岸壁	〃	60	-6.0	700	1	貨物船
		海洋研究開発機 構栈橋	国立研究開発法 人海洋研究開発 機構	220	-8.0	8,687G/T	2	潜水調査 船・支援母 船用
		日産1・2号栈橋	日産自動車(株)	435	-12.0	34,000G/T	2	自動車専用船
		日産3・4号栈橋	〃	260	-7.5~-10.0	15,000	2	〃
		日産5号栈橋	〃	90	-5.5	2,000	1	貨物船
		日産6号栈橋	〃	185	-10.0	18,000	1	自動車専用船
	長浦	海上保安部5号 浮栈橋	第三管区海上保 安本部	60	-5.0	—	2	官公庁船
	本港	本港1号浮栈橋	(株)トライアン グル	52	-4.8	—	2	旅客船
	浦賀	サニーサイドマ リーナ岸壁	湘南サニーサイ ドマリーナ(株)	47	-5.0	1,000	1	船舶修理用
		サニーサイドマ リーナ中突堤	〃	33	-5.0	700	1	〃
		住重浦賀工場東 岸岸壁	住友重機械工業 (株)	545	-6.5~-9.0	33,000	3	その他の船舶
	久里浜	東電B岸壁	JERAパワー横須 賀合同会社	100	-5.0	1,000	1	その他専用船
		東電C岸壁	〃	416	-9.0	10,000	2	タンカー
		東電D岸壁	〃	282	-11.5	10,000	1	〃
		東京湾フェリー (株)1号栈橋	東京湾フェリー (株)	74	-5.5	3,580G/T	1	フェリー
		東京湾フェリー (株)2号栈橋	〃	71	-5.5	3,580G/T	1	〃
	計				3,586		26	
	その他（米軍・防衛省）				6,210		54	
	合計				12,021		102	

注：延長(m)を除き、数値は計画値を掲載

出典：横須賀港統計年報 令和5年（2023年）（令和6年7月発行、横須賀市）

